

社会資本総合整備計画 中間評価書

平成30年3月14日

計画の名称	1 晴れの国おかやま生き生きプランによる「生き生き岡山」の実現			重点計画の該当	
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)	交付対象	岡山県、倉敷市、津山市、総社市、備前市、赤磐市、浅口市、新見市、瀬戸内市、真庭市、和気町、新庄村、鏡野町、勝央町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町		
計画の目標					

ICアクセス道整備や渋滞対策、隘路対策等を実施し、物流円滑化により地域を支える産業の振興をはかるとともに、道路交通網の強化により安心して豊かさが実感出来る地域の創造をはかり、生き生き岡山を実現する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・渋滞・隘路対策により経済損失を6% (H30) 解消
- ・ICアクセス道路整備により、高規格・地域高規格道路ICへのアクセス時間を9% (H30) 短縮

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	
	① 渋滞・隘路対策による経済損失の解消割合 (Σ 事業前走行時間費用 - Σ 事業後走行時間費用) / Σ 事業前走行時間費用 × 100 ※算出対象は、車、自転車、歩行者	—	3%解消	
② ICアクセス道路整備による、ICアクセス時間短縮割合 (Σ 事業前走行時間 - Σ 事業後走行時間) / Σ 事業前走行時間 × 100	—	5%短縮	9%短縮	

全体事業費	合計 (A+B+C)	35,644 百万円	A	35,596 百万円	B	0 百万円	C	48 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.13%
-------	---------------	------------	---	------------	---	-------	---	--------	---------------------------	-------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	中間評価の実施時期
	平成30年3月
岡山県において評価を実施	公表の方法
	岡山県ホームページで公表

○事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・(一)吉備津松島線や(一)寒河本庄岡山線等の道路整備を行った結果、渋滞緩和により経済損失を低減し、道路交通網の強化が図られた。 ・(一)南浦金光線(浅口金光IC以東)等の道路整備を行った結果、地域高規格道路IC等へのアクセス性が向上し、物流の円滑化が図られた。
--------------------------------	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（渋滞・隘路対策による経済損失の解消割合）	中間目標値	3.0%	目標値と実績値に差が出た要因	・計画的にバイパス整備等を進めており、一部区間で部分供用するなどの結果、目標を上回った。
		中間実績値	4.0%		
	指標②（ICアクセス時間短縮割合）	中間目標値	5.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		中間実績値	4.6%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	・ICアクセス道整備や渋滞対策、隘路対策等により、通行の安全性や快適性、定時性が向上している。
----------------------------	---

○特記事項（今後の方針等）

- ・目標達成に向け、引き続き効率的・効果的な道路整備を推進する。